issa | 国際社会保障協会

年次報告

2016/17 年

issa
World Social Security Summit
PANAMA CITY, 18 NOVEMBER 2016

写真で見る一年

issa

Taller de la Academia:
Tecnologías de la
Información y de l
Comunicación
Del 23 al 25 de agosto de 2017

FORO MUNDIAL DE
A SEGURIDAD SOCIAL

issa

issa
Excellence in social security

DATA ENABLES THE FUTURE
VIDEO SERVICE DELIVER
NEW TECHNOLOGIES
BETTER INFORMAT
SHA

issa
L'exc
issa

issa
Annual
Review

はじめに

一年を振り返る

創立90周年を迎えるISSAは今も、社会保障実務運営者の代表として国際コミュニティを形成し続けています。当協会に所属する社会保障分野の優れたリーダーや専門家の支援により、ISSAは世界中の社会保障運営に欠かせない、重要なパートナーとしての位置を築くことができました。昨年度も、優れた社会保障運営支援センター（Centre for Excellence）の第一フェーズの完成やG20、BRICSやOECDに拡がるISSAの関与等新たな業績を築きました。ISSAは、社会保障が直面する重要課題への画期的な対策を開発するための計画を推進し、未来を見据えています。

国際労働機関のイニシアティブを受けて17の疾病保険と共済給付組合が集まって、ISSAを設立したのは1927年でした。それ以降、ISSAは非常に大きな進歩を遂げてきました。創立から90年経った今、ISSAの加盟機関は320を超え、これらの加盟機関の適用対象者は30億人超、管理する資産は6兆ドル超、雇用する被用者は300万人超にも及びます。加盟国は、ISSA史上最も多い158か国となりました。

2016年11月、パナマで開催された世界社会保障フォーラム（WSSF）は一年のハイライトでした。世界中から1,000人以上の専門家が集い、社会保障の主なトレンドや課題の分析を行い、社会保障にとって歴史に残るフォーラムとなりました。ISSAは画期的な報告書も発表しました。『世界の社会保障が直面する10の課題』は、世界中の社会保障運営が直面する主な課題をまとめた報告書です。ISSAはフォーラムで、今後の課題に対応するための監視、照合、評価等、実践的かつ画期的な対応策についてのプレゼンテーションも行いました。

ISSAは社会保障運営に関連した事項において専門的なリーダーシップを提供する、他に類を見ない組織です。これはWSSFで発表された4つの新しいガイドラインと、既存ガイドラインへの新情報の追加・改訂で実証されました。優れた社会保障運営支援センターは現在、社会保障運営の主要事項に関連した12の包括的ISSAガイドラインを様々な言語で提供しています。これらの情報は個々に応じた出版物とグッドプラクティスと共に、リニューアルされたホームページ、または新しいアプリで閲覧が可能です。

優れた社会保障運営支援センター発進のその他の大きなキーポイントとなったのは、2つの加盟機関が初めてのISSA認証プログラム修了したことです。ISSAガイドラインに適用したことで「優秀賞」がパナマで授与されました。認証プログラムの順調な滑り出しは、2014年から発足した優れた社会保障運営支援センターの第一フェーズを締めくくりました。

WSSF では新しく選出された会長、会計役、さらに役員会メンバー、監査委員会の議長と委員も迎え入れられました。

国際的な影響力と存在感を高め続けている ISSA は、G20 や BRICS 労働雇用大臣会議等、世界的な重要会議にも招待されました。太平洋諸島諸国のフィジー (スバ市) で新しい ISSA 連絡事務所が開設され、またカメルーンからガボンへと移転した中央アフリカ連絡事務所により、ネットワークがさらに広がりを見せました。

ISSA は加盟機関のさらなるニーズに対応するため、2017-2019 年のプログラム及び予算承認を受けて、そのエキサイティングな発展を遂げる予定です。

これらの計画は、ISSA の加盟機関とより親密な関係を持ち、世界中のメンバーにデジタル経済による大きな変化と主要な社会保障の課題を考慮した対応策を講ずる狙いがあります。ISSA イノベーションプログラムの発足による革新的解決策の特定と共有は、ISSA の優れた社会保障運営支援センターの価値を高めるのみならず、将来を担う ISSA コミュニティーの手助けにもなります。

当協会は非常に実りの多い一年に貢献した全ての加盟機関、パートナーとスタッフに感謝の意を表します。とりわけ、過去 3 年間におよぶ強力なリーダーシップとサポートを発揮して今年退任するエロル・フランク・ストゥーブ会長、サイド・アーミドウチ副会長と会計役のフィリップ・コヌス氏に対し、心より感謝を申し上げます。今後も活気に満ちた当協会の、意欲的かつ魅力のある活動に期待を寄せています。

ISSA 会長
ヨアヒム・ブロイアー

ISSA 事務総長
ハンス - ホルスト・コンコルスキー

国際社会保障協会

データで見る ISSA

国際社会保障協会 (ISSA) は、社会保障機関や政府機関を繋ぐ世界有数の国際機関です。ISSA は、世界の加盟機関が活発な社会保障制度や政策が展開可能となる専門的なガイドライン、専門家としてのナレッジ、サービス及び支援を通じて、優れた社会保障運営を推進しています。ISSA は、国際労働機関の支援を受け 1927 年に設立されました。

コミュニティ

ISSA は加盟機関限定のコミュニティを提供し、イベントや専門家間のネットワークを通じて協力と情報交換を促進します。

ナレッジ

ISSA は専門的基準を開発しながら、調査及び分析を実施し、グッドプラクティスを取り上げていきます。

サービス

ISSA は実用的なサービスを提供し、社会保障運営をサポートします。

イノベーション

ISSA は、運営の強化、リスクを予測、及び変化に対応するための革新的なアプローチを促進します。

促進

ISSA は包括的な社会保障を促進する世界的な動きを支援します。

ISSA メンバーシップ

2016 年 9 月から 2017 年 8 月までの ISSA 主要イベント

世界社会保障フォーラム
2016年11月14–18日
パナマ (パナマシティ)

第 11 回 ISSA 技術委員会フォーラム
2017年3月2、3日
スイス (ジュネーブ)

中央アフリカ連絡事務所の移転
2017年3月21、22日
ガボン (リーブルヴィル)

予防技術セミナー
2017年4月12、13日
マレーシア (ムラカ)

特に記載のない限りすべて 2016 年時点の数字

1927年
ISSA の設立

323
加盟機関
(158 か国)

12
社会保障運営
ガイドライン

1,883人
ISSA 会議等への
参加者数

150以上
ISSA アカデミー
イベントへ参加した
加盟機関

第4回
世界社会保障
フォーラム
2016 年 11 月、
パナマ

546
ISSA データベース
に収録された社会
保障のグッドプラ
クティス数 (優れ
た取組み案件数)

49,900
『国際社会保障
レビュー』の記事が
ダウンロード
された回数

1,596,828
ISSA ウェブ
ポータルのページ
ビュー数

30億人の
適用対象者数

6兆ドルの
基金

300万人の
被用者

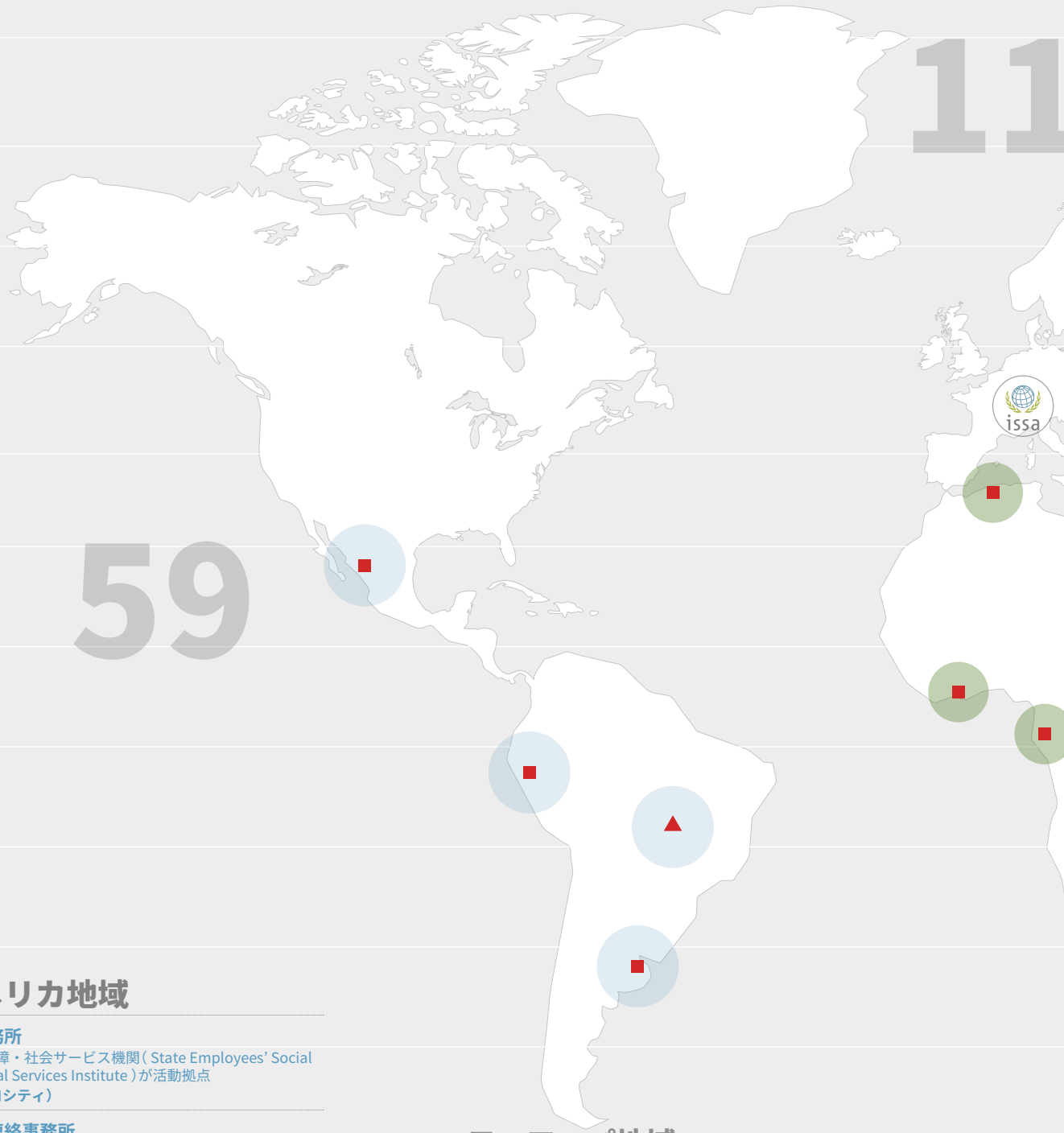
**ICT に関する
技術セミナー**
2017年5月22、23日
モロッコ (カサブランカ)

**デジタル経済に関する
役員会シンポジウム**
2017年6月28、29日
スイス (ジュネーブ)

**BRICS 諸国
労働雇用大臣会合**
2017年7月26、27日
中国 (重慶)

**財政技術
セミナー**
2017年8月22、23日
カメルーン (ヤウンデ)

世界の ISSA



南北アメリカ地域

北中米連絡事務所
国家被用者社会保障・社会サービス機関（State Employees' Social Security and Social Services Institute）が活動拠点
メキシコ（メキシコシティ）

アンデス諸国連絡事務所
デラママジステリアル（Derrama Magisterial）が活動拠点
ペルー（リマ）

南米コーノスール連絡事務所
社会保障庁（National Social Security Administration）が活動拠点
アルゼンチン（ブエノスアイレス）

ポルトガル語諸国フォーカルポイント
国立社会保障院（National Institute of Social Security）が活動拠点
ブラジル（ブラジリア）

正会員	準会員	合計
43	16	59

ヨーロッパ地域

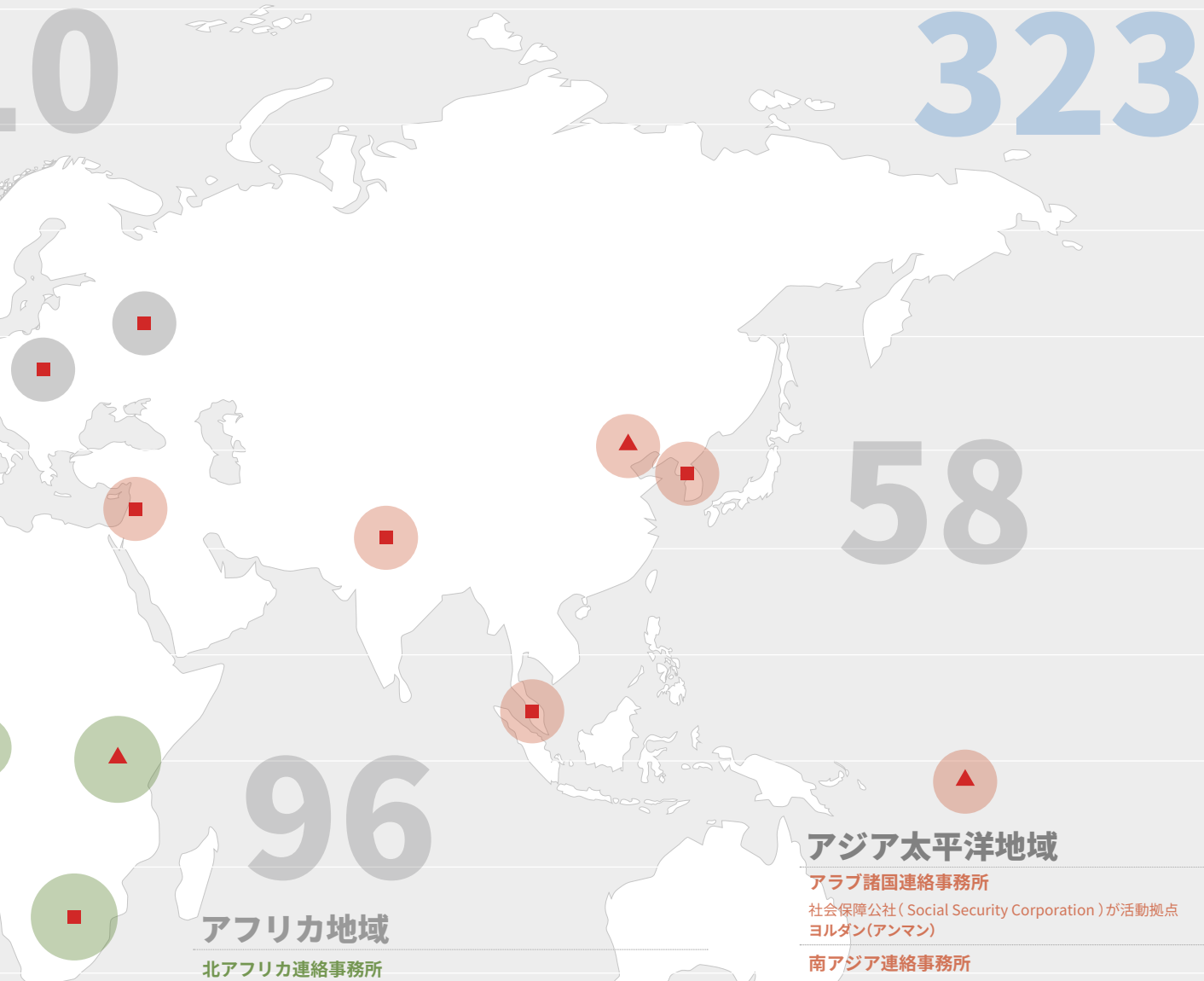
ISSA ヨーロッパネットワーク
社会保険機関（Social Insurance Institution）が委員長を務める運営委員会
ポーランド（ワルシャワ）

ISSA ヨーロッパネットワーク
ロシア連邦年金基金（the Pension Fund of the Russian Federation Moscow）が活動拠点
ロシア連邦（モスクワ）

正会員	準会員	合計
83	27	110

96	59	58	110
アフリカ地域	南北アメリカ地域	アジア太平洋地域	ヨーロッパ地域

正会員 : 147 か国 255 機関
準会員 : 40 か国 68 機関
合計 : 158 か国 323 加盟機関
(2017 年 6 月時点)



アフリカ地域

北アフリカ連絡事務所
全国被用者社会保険基金 (National Social Insurance Fund for Employees) が活動拠点
アルジェリア(アルジェ)

西アフリカ連絡事務所
全国社会保険基金 (Social Insurance Institute – National Social Insurance Fund) が活動拠点
コートジボワール(アビジャン)

中央アフリカ連絡事務所
全国社会保障基金 (National Social Security Fund) が活動拠点
ガボン(リーブルヴィル)

南アフリカ連絡事務所
社会開発省 (Department of Social Development) が活動拠点
南アフリカ(プレトリア)

東アフリカフォーカルポイント
東中央アフリカ社会保険協会 (East and Central Africa Social Security Association)
ケニア(ナイロビ)

アジア太平洋地域

アラブ諸国連絡事務所
社会保障公社 (Social Security Corporation) が活動拠点
ヨルダン(アンマン)

南アジア連絡事務所
被用者国家保険公社 (Employees' State Insurance Corporation) が活動拠点
インド(ニューデリー)

東南アジア連絡事務所
社会保障機関 (Social Security Organisation) が活動拠点
マレーシア(クアラルンプール)

東アジア連絡事務所
国民医療保険公団 (National Health Insurance Corporation) が活動拠点
大韓民国(ソウル)

中国加盟機関フォーカルポイント
人力資源・社会保障部社会保険庁 (Social Insurance Administration of the Ministry of Human Resources and Social Security) が活動拠点
中国(北京)

太平洋諸島国フォーカルポイント
フィジー国立共済基金 (Fiji National Provident Fund)
フィジー(スバ)

正会員	準会員	合計
83	13	96

正会員	準会員	合計
46	12	58

数字で見る WSSF

1000人
の参加者

125
の国

44
セッション数

130
講演者

www.issa.int/wssf2016

生活の変革。社会の形成。

世界社会保障フォーラム

世界社会保障フォーラムは、社会保障の政策決定者と専門家が集う、世界最大規模の国際会議です。ISSA による本フォーラムは 2016 年 11 月 14 日から 18 日まで、パナマ市のパナマ社会保険基金主催で開催されました。

投資としての社会保障

社会保障は人々、社会及び経済に重大かつプラスになる影響を長期的に付与し、人的資本と社会的結束にとって必要な投資と言えます。

世界的な目標は 2030 年までに全ての人に社会保障制度を適用すること

現在は歴史上でもっとも多くの方に社会保障が適用されており、国連の持続可能な開発目標には 2030 年までに全ての人に社会保障制度を適用する、という重要政策があります。

社会保障制度が直面する一連の国際的な課題

ISSA はフォーラムで新しい報告書『世界の社会保障が直面する 10 の課題』を発表し、世界の社会保障制度がいかに多くの複雑な課題に見舞われているかを示しました。これらの課題は社会保障制度を設立した基本パラメーターを変えつつあり、各社会保障機関からは革新的な運営を含む、戦略的かつ協調的な対応が求められます。

社会保障制度の未来には改革が必要

社会保障制度が直面する課題には持続的な社会保障を約束する革新的な対策が必要となります。そのため、変化するリスクやニーズに対応することが政策決定者と実務担当者に求められます。

社会保障制度は人を基軸としたアプローチを取り、優れた運営を目指して努めなければなりません。

人々から寄せられる大きな期待に応えるため、社会保障機関は技術的革新と人を基軸としたサービス提供強化を基盤に、卓越した運営を目指しています。

ISSA は社会保障運営の国際的なプラットフォームを提供しています

ISSA は実務運営者が社会保障制度の課題を解決するための戦略を取り交わし、画期的な解決法の特定と開発ができる、類を見ないグローバルなコミュニティです。

新しい執行幹部の選出

ISSA 評議員会は新たな会長と会計役にヨアヒム・ブロイヤー博士 (ドイツ公的災害保険事務総長) とニコライ・コズロフ氏　(ロシア連邦年金基金役員会副委員長) を選出しました。これに際し、監査委員会の正委員及び副委員も選出されました (ベルギーのジャンマルク・バンデンバーグ氏 (議長)、ポーランドのパウウェル・ジャロスゼック氏、コートジボワールのパトリシア・コイザン氏、そしてマダガスカルのラオウル - ロメイン・アリザカ・ラベコト氏)。

社会保障における優れた業績を称える ISSA 功績賞

中華人民共和国は年金、健康保険等の社会保障について前例のないほど拡大した功績が認められ、社会保障の優れた業績を称える由緒ある ISSA 功績賞が授与されました。

世界社会保障サミット

フォーラムの最後には、アルゼンチン、ブルキナファソ、中国、ナイジェリア、ロシア連邦、ウルグアイの各大臣及び高官、さらに ILO、OECD、国連や世界銀行の代表を招いて、世界社会保障サミットが行われました。

ISSA：90 年間の優れた社会保障運営

1927

1927 年 10 月 4 日

共済組合・疾病保険基金全国連合国際会議（*Conférence internationale des Unions nationales de Sociétés mutuelles et de Caisses d' assurance-maladie*）がブリュッセルで創立され、事務局をジュネーブの国際労働機関の新しい本部に設置

1938

ペルーの全国被用者社会保険基金がヨーロッパ諸国外の初めてのCIMAS メンバーとなる

1951

ISSA は初めて常設委員会を設立、国際会議の企画を行い、技術的開発や研究活動に重点を置く

1962

アフリカ初の地域会議をチュニスで開催、続いてアジア初の地域会議を東京で開催

1936

協会は国際社会保険会議（フランス語の頭字語で CIMAS として知られる）となり、入会基準を老齢、障害、遺族保険の運営機関にも拡大

1947

CIMAS は正式に国際社会保障協会（ISSA）に改名

1958

地域活動展開の決定により、ISSA メンバーシップが急激な成長を遂げ、地域事務所が設立された

1967

協会の機関
会保障レ
名され、社
権威ある学
ての地位を

1996

ISSA がストックホルム・イニシアティブの企画に成功この国内外の専門家による協議プロセスにより、社会的目標とマクロ経済必要条件のバランスについて一般認識が生まれる

2012

ILO と ISSA は協力体制の強化と国際的な社会保障の推進を目的とした覚書に署名

2017

ISSA はデジタル経済が社会保障に与える影響を分析する新プロジェクトを発表

1977

ISSA は創立 50 周年を迎え、加盟国が初めて 100 か国を超える

1999

社会・経済発展における社会保障の基本的役割について、国際的な対話と情報提供を実施する ISSA のイニシアティブが開始

1998

Social Security Worldwide と名付けられた ISSA ウェブサイトとオンライン・データベースを開始

2007

ISSA はモスクワではじめて世界社会保障フォーラムを開催。129 か国から 1150 人の大臣、政策決定者及び運営者が参加

2017

2013

ISSA は画期的な優れた社会保障運営支援センターを発足し、国際的に適用できる専門的なガイドライン事業を開始

1980

ISSA は広報ユニットを設立し、社会保障運営に関するナレッジのモニタリングと提供を開始

関紙が『国際社
ビュー』へと改
会保障研究の
学術季刊誌とし
と決定づける

優れた社会保障運営支援センター（THE CENTRE FOR EXCELLENCE）

社会保障運営における優れたガバナンス、高いパフォーマンス、及び高品質なサービスへの手段です。

ISSA の優れた社会保障運営支援センターは優れた社会保障支援に携わる国際コミュニティーの中心的存在です。ISSA 認定プログラムの発足と共に、センターは 2016 年に完成しました。

センターは主に 4 つの活動を行っています。

ガイドライン

優れた運営支援センターの中核をなす ISSA ガイドラインは、社会保障運営に関連した 12 の基幹的分野で、国際的に認められた専門基準を表しています。包括的な知識ベースによって管理職員がガイドラインを実施する際のサポートを行います。

アカデミー

アカデミーは加盟機関に対し、問題解決、学習、情報交換のプラットフォームへのアクセスと共に、能力構築、人材開発のサポートも行います。

テクニカルアドバイスとサポート

ISSA テクニカルアドバイスとサポートチームは、加盟機関の運営の向上を支援するため、加盟機関への追加的な知識、ガイダンス、専門情報を提供します。

認定

ISSA 会員は、社会保障運営における ISSA の国際的な専門的基準の遵守について協会より正式な評価と認定を受けることができます。ISSA の優れた運営に対する認証は、社会保障運営に特化した世界で唯一の証明です。

優れた運営支援センターは、専門的な知識ベースと実用的な加盟機関へのサービスを通じて、各加盟機関の任務、規模や地理的な位置にかかわらず、サービス範囲を拡大し続け、独特かつ総合的な情報を引き続き提供していきます。

www.issa.int/excellence

社会保障の国際的ガイドライン

ISSA ガイドラインは、社会保障運営における唯一の専門的基準です。

ISSA ガイドラインは社会保障の管理者に、運営の主要項目に関連する国際的なベストプラクティスの簡潔かつ実践的な知識へのアクセスを提供しています。

実践的な適用例や補足情報も提供する各ガイドラインに追加資料、参考文献及びグッドプラクティスの例が添えられています。

ISSA 技術委員会との協力の下、既存の 2 つのガイドラインの改訂に加え、運営に関する 4 つの追加項目の新しいガイドラインが 2016 年 11 月に公表されました。

社会保障運営に関する ISSA ガイドライン

- グッドガバナンス
- サービスの質
- 保険料徴収・納付義務遵守
- ICT (情報通信技術)**
- 社会保障基金の投資
- 持続可能な雇用の推進 *
- 社会保障運営におけるコミュニケーション *
- 社会保障の数理業務 (ILO と共同)*
- 適用拡大のための運営上の解決方法 *
- 職場復帰と再統合
- 職場のリスク予防 **
- 職場の健康増進

** 新規ガイドライン*
*** 改訂ガイドライン*

www.issa.int/guidelines

適用格差の是正

ライフコースにおける不平等

高齢化社会

若年労働者の雇用

労働市場とデジタル経済

保健と介護

新たなリスク、ショック及び極端な事象

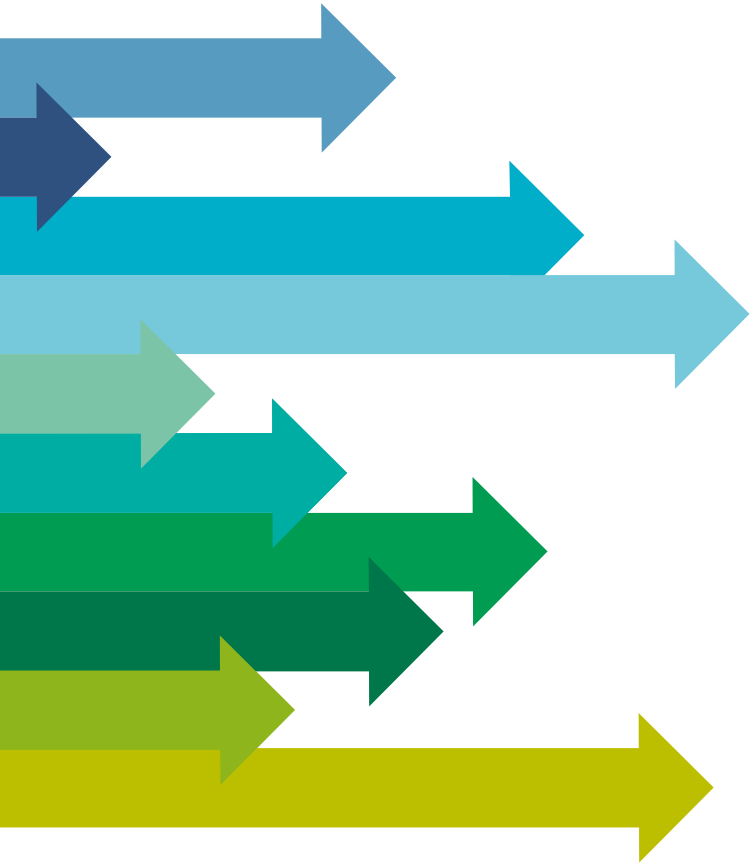
移民労働者の保護

技術の進展

社会の期待の増大

「社会保障の明るい、持続可能な未来の実現は、運営者のリスク分析、予測、そして軽減する能力にかかっている。」

事務総長
ハンス - ホルスト・コンコルスキー



世界の社会保障が直面する 10 の課題

国際的な社会保障レベルは最高記録に達して、さらに上昇し続けています。揺るぎない政治的意志と優れた運営に基づいた社会保障は、世界中の地域において、人々の生活改善と社会形成に貢献しています。

国際的なコミュニティは、国連が掲げる 2030 年の持続可能な開発目標に準じて、社会保障の持続と保護拡大に努めています。この意欲的な目標を実現するには、直面する課題をより深く理解し、適切な対応を展開する必要があります。

そのため、ISSA は社会保障制度が抱えるグローバルな課題で最も重要な 10 項目に焦点を当てた報告書を作成しました。

世界の社会保障が直面する 10 の課題

ISSA は 2016 年、パナマ市で開催された世界社会保障フォーラムで、画期的な報告書となる『世界の社会保障が直面する 10 の課題』を発表しました。報告書には社会保障運営が直面する、最も重要な 10 の課題が選定されました。これらの情報は世界 280 の政府機関及び社会保障機関の研究と協議に基づいたものです。

報告書は社会保障を取り巻く急激な環境変化への理解を促進するだけではなく、ISSA 加盟機関が特定された課題に上手く対応するために実践した画期的解決法等の興味深い記述もあります。

この報告書を踏まえ、ISSA は各地の加盟機関に今後のグローバルチャレンジに地域別優先順位を設定するように促しています。この結果は今後 3 年の間、各地域で開催される社会保障フォーラムで公表されます。

www.issa.int/10

イノベーション

2017 年から 2019 年の ISSA 活動プログラムにとってイノベーションは重要な要素となります。

イノベーションプログラムは、高評価の ISSA 優れた運営支援センターを補完するダイナミックな要素として開発されました。

> ガイドラインの評価された原則とグッドプラクティスを越えたプログラム

> 重要課題の画期的解決法の共有

> 新しく発生した課題の解決法を協力して模索

イノベーションプログラムは 6 月の役員会シンポジウムで正式に発足し、シンポジウムにはジュネーブの国際連合及び国際労働機関からの公式代表者、さらに ISSA の元役員や ISSA 加盟機関と地域社会保障機関からの代表者等、多くの貴賓が出席しました。シンポジウムは、2017 年の ISSA 創立 90 周年を祝う一連のイベントの開始を告げました。

本プログラムは 2 つの連結したワークストリームから構成されます。1 つ目は世界の社会保障が直面する 10 の課題の画期的な解決法に関するストリームです。2 つ目はデジタル経済から発生する影響、リスクとチャンスに対応するものです。この 2 つの議題は ISSA の技術委員会、地域組織及び事務局の主要活動に組み込まれます。

プログラムのアウトプットには地域社会保障フォーラムでのイノベーション情報交換と専門会議及び地域技術セミナーも含まれます。さらに、ISSA イノベーション賞によるイノベーション推進や CEO に焦点を当てたイノベーションのための指導力シリーズ等も実施されます。最終的に ISSA イノベーションラボで協力しながらイノベーションを創り出す計画もあります。

www.issa.int/observatory

デジタル経済

デジタル経済は私達の日頃の生活、仕事と暮らし方に大きな影響を与えます。

この変化を理解し対応するために、ISSA は、デジタル経済と社会保障オブザーバトリーを立ち上げました。

オブザーバトリーはデジタル経済に関連したさまざまな課題と社会保障への影響を分類し、これらの情報は ISSA 活動に組み込まれ、加盟機関に社会保障運営が直面する課題や発生するチャンスについてのガイダンスが提供されます。

オブザーバトリーはデジタル経済による変化を 2 つの視点から分析します。

> デジタル経済によって、社会保障を取り巻く環境がどのような変化を受けるか

> デジタル経済は社会保障運営にどのような影響を与える可能性があるか

この取り組みによって、ビデオ分析及びデータを提供し、リアルタイムに拡張し続けるメディアウォール等、新しいツールが ISSA 加盟機関に提供されます。

この「将来に目を向けた」活動は、ISSA の技術委員会、ISSA 会議やイベントにおける発見、会員アンケート、グッドプラクティス、文献調査、さらに外部専門家による研究とインプットによって支援されます。

www.issa.int/observatory

出版物及びリソース

優れた社会保障運営のためのナレッジ

ISSA ウェブポータルとアプリ

ISSA ウェブポータルは、世界中の社会保障運営に関する総合的な情報、ニュース、データ及び分析を提供しています。個々のユーザー向けの My ISSA ページのほか、「ISSA 優れた運営支援センター」、「ISSA ガイドライン」及びその他の重要な情報源への全アクセスをはじめとする会員限定のサービスが提供されています。

www.issa.int

国際社会保障レビュー

1948 年に創刊された『国際社会保障レビュー』は、世界でも主要な社会保障の刊行物で、四半期ごとに出版されます。世界有数の社会保障専門家による時事問題の国際的比較や考察、さらに社会保障政策や制度の比較分析研究に関する記事が掲載されています。また、ISSA 加盟機関の関心の中心となる政策や運営を主題とした特別号や主題別特集号も刊行しています。

オンラインアクセス：英語の記事については 1967 年以降の掲載記事がアクセス可能です。フランス語、ドイツ語及びスペイン語の記事については 2008-2013 年の掲載記事がアクセス可能です。加盟機関は My ISSA を利用していつでも国際社会保障レビューに無料でアクセスできます。

国際社会保障レビューは英語で刊行されます。なお、新しい記事の概要に関しては、そのすべてについて、英語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語及びスペイン語による記事が利用可能です。

www.issa.int/review

社会保障の十分性

十分な給付やサービスとは何か。また、どのようなベンチマークに対して、十分な給付とサービスを定義することができ、最終的な評価が可能なのか。このシリーズは年金と失業手当の十分性を分析し、複数の変数により十分性の測定を定義し、評価する定量モデルを提言します。

退職手当給付 : *英語版が利用可能。*
失業手当給付 : *英語版、フランス語版、スペイン語版が利用可能。*

www.issa.int/adequacy

メガトレンドと社会保障

ISSA は主要な外部要因 (またはメガトレンド) が社会保障制度にどのような影響を与えるか、そして社会保障運営機関は、メガトレンドが社会に対する影響をどのように予測し、軽減できるかを分析しました。ISSA は、社会保障制度の背景とデマンドにメガトレンドが与える影響について、主要 4 分野のレポートを作成しています。「労働市場」、「気候変動と天然資源の不足」、「人口動態の変化」、「家族とジェンダー」です。

英語版が利用可能。

www.issa.int/megatrends

BRICS の国社会保障運営の持続可能性の課題

ISSA は 2011 年に BRICS の国における社会保障に関する本プロジェクトを発足しました。新しい報告書は BRICS 内の ISSA 会員の協力を得て作成されたもので、BRICS の国が抱える持続可能性に関する課題を定義します。

英語版が利用可能。

www.issa.int/BRICS

世界の社会保障が直面する 10 の課題

『世界の社会保障が直面する 10 の課題』は社会保障が直面する 10 の主要な課題に焦点を当てた報告書です。報告書は社会保障を取り巻く急激な環境変化への理解を促進するだけではなく、ISSA 加盟機関が上手く課題に対応した画期的解決法等の興味深い記述もあります。次回以降の報告書は、世界の ISSA 地域会員の視点から見た課題に取り組みます。

なお、対象地域によっては他言語版もあります。

www.issa.int/10

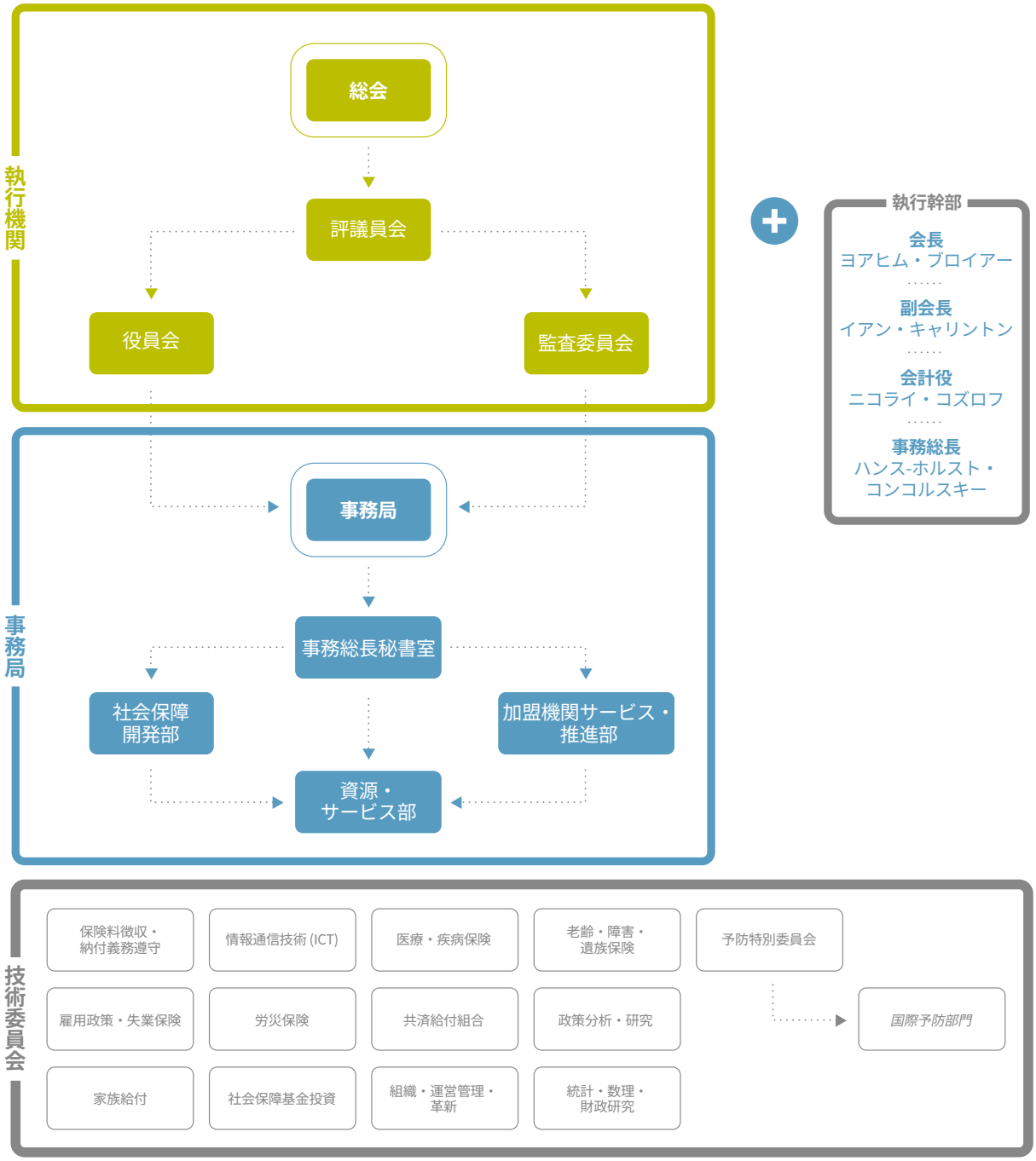
世界の社会保障制度一覧 (SSPTW)

このシリーズでは、アジア太平洋、アフリカ、南北アメリカ、ヨーロッパの地域別に調査結果をまとめ、2 年間にわたり 6 カ月毎に刊行されます。各巻は各地域の社会保障制度の特徴を概説しています。『世界の社会保障制度一覧』は、アメリカ社会保障庁と ISSA の共同作成による出版物です。

英語版が利用可能。

www.issa.int/SSPTW

ISSA の統治と組織体制



© ISSA 2017
ISBN 978-92-843-2229-9
写真：ISSA; iStockphoto.

優れた社会保障を推進
Promouvoir l’excellence dans la sécurité sociale
Promoviendo la excelencia en la seguridad social
Förderung von Exzellenz in der sozialen Sicherheit
За повышение стандартов в социальном обеспечении
促进卓越的社会保障
دعم التميّز في الضمان الاجتماعي

ISSA 事務局

4 route des Morillons
Case postale 1
CH-1211 Geneva 22

T: +41 22 799 66 17
F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

www.issa.int